

# 記入例

(表面)

## 児童手当 認定請求書

国保加入確認

認定番号

※受付確認年月日

提出年月日

請求者の個人番号

令和 ● ● ● ●

次のとおり児童手当の認定請求をします。受給資格の有無もしくは、所得状況等を公簿等により確認することに同意します。公簿等で確認できない場合は関係書類を提出します。また、申請した事項に変化が生じたときは、速やかに届出を行います。

請求者	(ふりがな)	ふっさ たろう		住所	福生市 本町5丁目			1月1日時点の住所(1~5月分は前年、6~12月分は本年) 左記と異なる場合に記入してください。										
	氏名(法人名)	福生 太郎		電話	042(551)1737			請求者	※福生市以外 は必ず記入 市区町村									
	性別	男 ● 女	生年月日	昭和 ● ● ● ●	職業区分	ア 被用者 イ 公務員 ウ 被用者等でない者	加入している年金等の種別		ア 厚生年金 イ 国民年金 ウ その他 ( ) ※以下の共済組合の組合員である場合は括弧内に○を記入してください。 ( ) 私立学校教職員 ( ) 国家公務員 ( ) 地方公務員等									
配偶者の有無	有 ● 無	生年月日	昭和 ● ● ● ●	職業区分	ア 被用者 イ 公務員 ウ 被用者等でない者	加入している年金等の種別	ア 厚生年金 イ 国民年金 ウ その他 ( ) ※以下の共済組合の組合員である場合は括弧内に○を記入してください。 ( ) 私立学校教職員 ( ) 国家公務員 ( ) 地方公務員等	配偶者の個人番号	ア 被用者 イ 公務員 ウ 被用者等でない者	配偶者の職業区分	ア 被用者 イ 公務員 ウ 被用者等でない者	配偶者	あきる野市 ● ● ● ●					
配偶者	(ふりがな)	ふっさ はなこ		生年月日	昭和 ● ● ● ●			※請求者と異なる場合は、必ず記入										
振込希望金融機関	氏名	福生 花子		住所	※請求者と異なる場合は、必ず記入			配偶者の個人番号										
	氏名	福生 太郎		支店コード	1 2 3			支店名	本町支店			口座番号	7			口座名義 (カタカナ)	フツサ タロウ ※請求者名義の口座	
支給対象児童	氏名	続柄	生年月日	同居・別居の別	海外留学をしている場合の出国年月	住所	監護の有無	生計関係	※子どもとの関係で該当する場合に○	※3歳未満の場合に○	※3歳以上高校生以下の場合に○	※第3子以降の場合に○						
	福生 一郎	子	平成 ● 年 ● 月 ● 日	同 ● 別	平成 ● 年 ● 月	※請求者と異なる場合は、必ず記入	有 ● 無	同 ● 維持	・未成年後見人 ・父母指定者 ・父母同居	15000円	10000円	30000円						
	福生 二郎	子	平成 ● 年 ● 月 ● 日	同 ● 別	平成 ● 年 ● 月	あきる野市 ● ● ● ●	有 ● 無	同 ● 維持	・未成年後見人 ・父母指定者 ・父母同居	15000円	10000円	30000円						
				平成 ● 年 ● 月 ● 日	同 ● 別	平成 ● 年 ● 月						30000円						
				令和 ● 年 ● 月 ● 日	同 ● 別	平成 ● 年 ● 月						30000円						
支給対象児童の兄弟等(注)	氏名	続柄	生年月日	の別	る場合の出国年月	住所	監護相当の有無	生計費負担の有無	(注) ・18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後から22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者 ・支給対象児童と支給対象児童の兄弟等の合計人数が3人以上の場合は、「監護相当・生計費の負担についての確認書」をご提出ください。			※算定対象の場合に○						
	福生 兄	子	平成 ● 年 ● 月 ● 日	同 ● 別	平成 ● 年 ● 月	あきる野市 ● ● ● ●	有 ● 無	有 ● 無				確認書						
	福生 姉	子	平成 ● 年 ● 月 ● 日	同 ● 別	平成 ● 年 ● 月	※請求者と異なる場合は、必ず記入	有 ● 無	有 ● 無				確認書						
※審査	却下	令和 ● 年 ● 月 ● 日	支給開始年月	令和 ● 年 ● 月	手当月額	円												
	控除	控除後所得額			80,000円			円										
控除後所得額		小規模企業共済等掛金控除額	障害者控除額	障害者数	寡婦・ひとり親・勤労学生控除額	児童手当法施行令第3条第1項による控除額	円			円								

支給対象児童とは、**高校生年代までの子**  
(18歳に達する日以後の最初の3月31日までの子)

支給対象児童と支給対象児童の兄弟等の合計が**3人以上**の場合、支給対象児童の兄弟等について「**監護相当・生計費の負担についての確認書**」の提出が必要です。

請求者と支給対象児童が別居の場合は、別居の児童について「**別居監護・生計同一申立書**」の提出が必要です。

支給対象児童の兄弟等とは、**大学生相当の子**  
(18歳に達する日以後の最初の3月31日経過した後から22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間の子)

◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。 ◎ ※印内及び太枠内は、記入しないでください。 ◎ 字は、楷書(かいしょ)ではっきり書いてください。

注意

- 「氏名(法人名等)」の欄は、請求者が個人である場合は氏名を、法人である場合は法人名及び代表者氏名を記入してください。
- 「住所」の欄は、請求者が個人である場合は住民票上の住所を、法人である場合は主たる事務所の所在地を記入してください。  
また、請求者が個人であり、本年(1月から5月までの月分)については、前年をいいます。)1月1日に他の市町村(特別区を含みます。以下同様です。)に住所を有していた場合は、当該住所を右欄に記入してください。
- 請求者の「性別」、「生年月日」、「職業区分」、「配偶者の有無」、「個人番号」、「加入している年金等の種別」の欄は、請求者が法人である場合は記入する必要はありません。
- 「加入している年金等の種別」の欄は、請求者の請求の日における公的年金制度の加入の状況について、次により記入してください。  
① 加入している公的年金制度について、「ア」から「ウ」までのいずれか該当するものを○で囲んでください。「ウ」を○で囲んだ場合は、( )内にその年金の名称を記入してください。  
② 「ア」を○で囲んだ場合で、第四種被保険者又は高齢任意加入被保険者(これらの者が保険料を自ら全額負担している場合に限ります。)であるときは、当該欄の余白に「四種」又は「高任」と記入してください。
- 配偶者の「氏名」、「生年月日」、「住所」、「個人番号」、「職業区分」の欄は、「配偶者の有無」の欄で「有」を選んだ場合に記入してください。なお、配偶者には、児童を懐胎した当時婚姻の届出をしていないが、請求者と事実上婚姻関係と同様の事情にあった者を含みます。また、配偶者が本年(1月から5月までの月分)については、前年をいいます。)1月1日に他の市町村に住所を有していた場合は、当該住所を右欄に記入してください。
- 「支給対象児童」の欄は、請求者が養育(監護し、かつ、生計を同じくするか又は生計を維持することをいいます。以下同様です。)をする18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある全ての子について、記入してください。
- 支給対象児童が海外に留学している場合は、「海外留学をしている場合の出国年月」の欄に、いつから留学しているか(出国した年月)を記入してください。
- 「生計関係」の欄は、次によって記入してください。  
① 「同一」は、児童が請求者自身の子である場合や請求者が未成年後見人又は父母指定者である場合で、請求者がその子と生計を同じくしているときに○で囲んでください。  
② 「維持」は、児童が請求者自身の子でない場合で、請求者がその子の生計を維持しているときに○で囲んでください。
- 支給対象児童の兄弟等の「監護相当の有無」の欄は、監護に相当する日常生活上の世話及び必要な保護をしている場合には、有を○で囲んでください。
- 支給対象児童の兄弟等の「生計費負担の有無」の欄は、記載した子が受給者の収入により日常生活の全部又は一部を営んでおり、かつ、これを欠くと通常の生活水準を維持することができない場合には、有を○で囲んでください。例えば同居であって子の学費・食費等の生計費の一部を負っている場合、別居であって親が学費や家賃・生計費の一部を仕送りしている場合等が該当します。
- 支給対象児童の兄弟等が海外に留学している場合は、「海外留学をしている場合の出国年月」の欄に、いつから留学しているか(出国した年月)を記入してください。
- この請求書には、次の書類を添えて提出してください。なお、当該書類により証明すべき事実を公簿等(マイナンバー制度による情報連携を含みます。)で確認することができるときは、当該書類は省略することができます。  
① 児童又は児童の兄弟等が他の市町村に住所を有する場合は、その児童の住民票の写し又は住民票記載事項証明書であって、その児童が世帯主である場合にはその旨、その児童が世帯主でない場合には世帯主との続柄が記載されたもの  
② 児童が海外に留学している場合は、当該児童が日本国内に住所を有しなくなった日の前日まで引き続き3年を超えて日本国内に住所を有し、教育を受けることを目的として外国に居住していることを明らかにすることができる書類  
③ 児童が請求者自身の子であり、請求者がその児童と別居している場合は、請求者のその児童に対する養育の状況を明らかにすることができる書類  
④ 請求者が未成年後見人である場合は、当該事実を明らかにすることができる書類  
⑤ 請求者が父母指定者である場合は、当該事実を明らかにすることができる書類  
⑥ 児童が請求者自身の子でない場合は、父母とその児童との養育関係及び請求者とその児童との養育関係を明らかにすることができる書類(請求者が未成年後見人又は父母指定者である場合を除く。)  
⑦ 生計を同じくしない配偶者等と別居し、児童と同居している場合は、当該事実を明らかにすることができる書類  
⑧ 請求者に配偶者がある場合には、本年(1月から5月までの月分)については、前年をいいます。)1月1日に他の市町村に住所を有していた場合は、請求者又は配偶者の前年(1月から5月までの月分)については、前々年をいいます。)の所得の額についての市町村長の証明書  
⑨ 支給対象児童の欄に3歳に満たない児童がいる請求者が被用者であるときは、当該事実を明らかにすることができる書類  
⑩ 支給対象児童の兄弟等の欄の「監護相当の有無」及び「生計費負担の有無」がいずれも「有」で、支給対象児童と支給対象児童の兄弟等の合計人数が3人以上の場合は、支給対象児童の兄弟等に係る「監護相当・生計費の負担についての確認書」  
⑪ 支給対象児童の兄弟等の欄の「監護相当の有無」及び「生計費負担の有無」がいずれも「有」で、支給対象児童と支給対象児童の兄弟等の合計人数が3人以上の場合に、支給対象児童の兄弟等の欄に記載した子が海外に留学している場合は、当該子が日本国内に住所を有しなくなった日の前日まで引き続き3年を超えて日本国内に住所を有し、教育を受けることを目的として外国に居住していることを明らかにすることができる書類

不足添付書類		提出年月日		備考				
<input type="checkbox"/> 保険証の写し(父・母)	令和 年 月 日		届出区分	1. 出生 2. 転入 3. 受変 4. その他( )				
<input type="checkbox"/> 振込口座	令和 年 月 日		確認事項					
<input type="checkbox"/> 子のVISA	令和 年 月 日		添付書類 確認済	所得	<input type="checkbox"/> 公簿で確認	配偶者 所得	控除後 円	
<input type="checkbox"/> 申立書(別監・養育者)	令和 年 月 日				<input type="checkbox"/> 証明書で確認			
<input type="checkbox"/> 監護相当・生計費の負担についての確認書	令和 年 月 日				<input type="checkbox"/> ひとり親世帯 所得確認不要			
<input type="checkbox"/> 情報連携(父・母)	令和 年 月 日		外国人在留資格・期間		1. 外録証写し等 2. 確認票			
<input type="checkbox"/>	令和 年 月 日		確認 事項	確認日	令和 年 月 日 確認済			
<input type="checkbox"/>	令和 年 月 日			市区町村			担当	様
<input type="checkbox"/> 申請日の2週間後の翌月( )月の11営業日後から年金情報連携可能				月分まで前住地で支給		受給者	父・母	